

100 世界遺産の旅 (173)

異国情緒あふれる街

異国情緒あふれる街は、我が街・神戸、横浜、函館などがあるが、長崎くんちを観覧した後、長崎の歴史的建造物を探訪しながら異国情緒を味わった。

まずは、諏訪神社近くにある眼鏡橋へ向かった。眼鏡橋は、1634 年日本最古の唐寺である興福寺の住職が架設した日本最初の唐風石橋で、近くには亀山社中跡があり、坂本龍馬も革靴で渡ったであろう。



眼鏡橋、長崎市、2025年10月

長崎には2つの世界遺産がある。①「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」と②「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」である。

1859年開港時、大浦天主堂は外国人信徒のために建設され、明治以降、長崎や天草の隠れキリシタンは、挙って教会を建設した。大浦天主堂は、観光の立地条件に適した長崎市の南山手で、①の世界遺産を代表する教会であり、あわせて日本の国宝でもある。



国宝・大浦天主堂、長崎市、2025年10月

大浦天主堂に向かって右手へ折れ、坂を登ってゆくとグラバー園の入り口に辿り着く。以前は徒歩で登っていたが、今ではエスカレーターが設置されていた。

まずは、明治期に建てられた外国人乗組員用の宿舎で移築された旧三菱第2ドックハウスが現れ、そこから回遊路を下っていくとグラバー邸の庭に着く。



グラバー邸、長崎市、2025年10月

グラバーは、スコットランド出身で、軍艦・武器等を販売する「死の商人」である一方、近代的な修船施設の建設、蒸気機関を導入した洋式炭坑の開発など、幕末、明治における日本の近代化に大きく貢献した。

グラバー園に残る日本最古の木造洋風建築グラバー邸は、「明治日本の産業革命遺産」の構成建造物である。「亀山社中」を立ち上げた坂本龍馬も、軍艦や銃の購入にグラバーの援助を受けたといわれる。

グラバー邸では、「くいしん坊！万才」の撮影中で、スタッフ達が庭園での撮影構図に苦心していた。

パーソナリティは、元プロテニスプレーヤーで、「くいしん坊！万才」11番目の松岡修造であった。



グラバー園より稲佐山、長崎市、2025年10月

グラバー園より稲佐山を臨むと、港には豪華客船が着岸しており、その向こうに「明治日本の産業革命遺産」の1つである三菱長崎造船所関連施設が見えた。

子供の頃、神戸大丸百貨店の屋上で、うなぎ釣りをした後、最上階段を昇ると神戸港に係留されている多くの船を見ることが出来た。何時かは船に乗って、欧州やアメリカへ行ってみたいと願ったものである。

大人になって、世界を巡ることが出来たが、船ではなく、飛行機であった。どうも船での長旅は、行動が制約されるため、私の性に合わないだろう。

卷末 (3-16)	金婚旅行	九州一周
(3-16-1)	九州一周	行程図
(3-16-2)	高校修学旅行	今昔5景